



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ

2021年



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

R.I 会長 シェカール・メータ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 本田雄一郎 幹事 増山大祐

クラブ会報・情報委員会 金子勇人・飯塚荘一・木村洋一・中村光孝

11月29日号

第3172回例会

(11月15日(月)第2例会)

一例会場変更一桐生商工会議所 ケービックホール

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 委員会報告
7. 善行青少年表彰 青少年奉仕委員会担当
8. 卓 話
ビデオレター
アルペンスキーヤー 石島 瑤子様
「未来のための挑戦」
平成20年善行青少年表彰 被表彰者
前橋市消防局中央消防署 特殊機動部隊
高度救助隊 矢島 亮太様
9. 点 鐘

ようこそビジター

<卓話者> 前橋市消防局中央消防署 特殊機動部隊高度救助隊 矢島 亮太様

会長の時間

《報 告》

・11/11 家族会総会

《予 定》

- ・11/18 親睦活動委員会家庭集会
- ・11/20 クラブ活性化ワークショップ
Zoom 会長・会長エレクト
宝田先生を偲ぶ会 スカイホール
- ・11/22 桐生4RC 会長幹事会
- ・11/25 ゴミ減量化推進協議会
富澤社会奉仕委員長
- ・11/28 RLI パートII
久保田副幹事 松島地区研修委員

- ・桐生南、桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。
- ・次週例会は、休会です。次回例会は、29日となりますので、お間違えのないようお気をつけください。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(令和3年11月15日)
総員65名:出席44名
令和3年10月18日例会修正出席率:65.45%

ニコニコボックス

坂入勝君、柳明彦君、田中一枝さん…善行青少年の皆様おめでとうございます/腰塚富夫君…善行青少年の皆様日頃の努力に感謝します。

幹事報告

・ガバナー事務所より11月20日クラブ活性化ワークショップ実施のご案内が届いております。会長と会長エレクトがZoomで参加予定ですが、皆様もYoutubeでご視聴いただけます。

善行青少年表彰式

司会 青少年奉仕副委員長 長澤深幸

1. 開 会
2. 主旨説明 青少年奉仕委員長 丹羽あゆみ
3. 受賞者の紹介 青少年奉仕委員長 丹羽あゆみ
4. 表 彰

受賞者代表
桐生市立川内中学校
今泉 晴夏 様



5. 会長祝辞

桐生ロータリークラブ
会長 本田雄一郎

各校より善行青少年表彰に推薦されました生徒の皆様受賞おめでとうございます。この善行青少年表彰は、私達桐生ロータリークラブが毎年行っている事業であり、この事業を開始したのは1982年(昭和59年)ですから39年間続けている事業です。表彰された人は約1,000名にのぼります。39年前当時18歳で表彰された方は、現在57歳位になっております。この事業の主旨は、先程担当の丹羽青少年奉仕委員長から説明がありましたが、各校からこの主旨にふさわしい人物を1名選んで下さいという事でありそれぞれの学校には何十人から何百人という生徒さんが在籍されている訳ですから担当された先生におかれましても1名を選ぶという事は本当に大変な事だったと思います。重ねて感謝申し上げます。

その様な大変な選考から今ここにおあります「あなた」が選ばれた訳です。我々ロータリーメンバーも受賞された皆様全員の推薦書に目を通させていただきました。すべての生徒さんが、学習面、スポーツをはじめとする各種クラブ活動、人間関係、生徒会等の組織において中心的な人物として優れた行動や活躍をされております。ですから今回の表彰が「あなた」にとって「自分の力を信じ」「自信をもってもらう」機会として頂ければ幸いです。

これから皆様に話を頂く2名は、桐生ロータリークラブの善行青少年表彰を受けたあなた方の先輩です。

1名は、アルペンスキーヤーの石島瑠子さん、もう1名は、前橋消防局高度救助隊の矢島亮太君です。彼らも強い意志と努力で自分の夢や目標実現させる若者として活躍しています。今日の話が皆さま自身の成長の参考になればと思っております。

本日は受賞おめでとうございます。

6. 受賞者代表謝辞



受賞者代表
桐生第一高等学校 柳井 有希菜 様

7. 閉 会

学 校 名	被表彰者名	引率者
桐生市立中央中学校	菊澤凜子	山本幸司
桐生市立清流中学校	林 鈴乃	増山由貴子
桐生市立境野中学校	石神彩葉	赤澤三幸
桐生市立広沢中学校	和田華実	荻野悦子
桐生市立桜木中学校	清水颯太	町田泰洋
桐生市立梅田中学校	蛭間凜乃	関口理江
桐生市立相生中学校	小倉海斗	松島美涼
桐生市立川内中学校	今泉晴夏	伊藤純也
桐生市立新里中学校	鈴木祐香	吉場広章
桐生市立黒保根中学校	関口真歩	関野 豪
明照学園樹徳中学校	田中里胡	小野倫寿
桐生大学附属中学校	星野杏林	中島隆行
群馬県立桐生高等学校	今井啓斗	高野優作
群馬県立桐生工業高等学校	山中愛斗	堀川宗雄
群馬県立桐生清桜高等学校	木村真悠子	石井貴子
桐生市立商業高等学校	川岸彩花	砂川智哉
桐生第一高等学校	柳井有希菜	有間裕二郎
明照学園樹徳高等学校	田村璃乃	福田 肇
県立あさひ特別支援学校	岡 海人	小坂橋一央

受賞者の紹介

(敬称略)



卓 話



アルペンスキーヤー

石島 瑠子様

1997 年生まれ。石島久司会員の長女。桐生市立梅田中-尾瀬高-早稲田大学卒。父の影響でスキーを始め、中学 2 年で本格的にアルペンスキーを始める。2020 年とやま・なんと国体大回転優勝。同年全日本学生スキー選手権女子一部大回転優勝。現在、2022 年北京冬季五輪出場を目指して北米大会で上位を狙う。



「未来のための挑戦」
前橋市消防局中央消防署
特殊機動部隊
高度救助隊 矢島亮太様

皆さん、こんにちは。本日は盛大な式典にご招待して頂き、誠にありがとうございます。この度は表彰おめでとうございます。私は前橋市消防局中央消防署、高度救助隊に所属している矢島亮太と申します。平成 20 年に私自身も皆さんと同じ様に表彰して頂いた経緯もあり、光栄なことにこの度はご招待して頂きました。本日の話が少しでも皆さんの将来設計や生活のお役に立てれば嬉しいです。

これから皆さんにお話したいことは 3 つ。まず 1 つ目は現在私がどんな仕事をしているか、2 つ目はなぜその仕事を選んだのか。そして 3 つ目は、私の経験から皆さんに伝えたいこと。という順序をたててお話ししたいと思います。

それではまず簡単に、自己紹介させていただきます。現在私は 31 歳で、妻と息子の 3 人家族です。桐生市に在住しています。もともと祖父母の家が前橋市にあったという

こともあり、桐生市に住みながら、前橋市の町を守るという少し珍しい勤務体制で働いています。いつも前橋市で勤務をする私ですが、桐生市やみどり市は生まれ育った憩いの町です。そんな桐生市で講話を開く機会を頂けたことは、とても嬉しく良い刺激になっています。

私の持っている資格、救急救命士というと普段は救急車に乗っているイメージかと思いますが、私は救助隊に所属する救急救命士として活動しています。その役割としては、災害現場で救助活動を行うのと同時に、医学の知識を用いて最前線から傷病者の容態を的確に読み取る。そして医師と連携することで、必要に応じた応急手当や医療行為を行います。早期医療介入という点で救急救命士は重大な役割を担っていると考えています。救助隊の救急救命士というのは、非常に珍しく桐生市には 1 名、前橋市には私以外に 2 名存在しています。私の業務内容は主に人命救助ですが、どの様なことをしてるかという、例えば火災であれば燃えている建物に進入し、火の手が回る前に要救助者を救出してくる。交通事故であれば、横転している車の中に入り、要救助車の体が挟まれていれば、車両破壊をして救出するといった仕事をしています。記憶に新しいところで言うと、今年の 7 月 3 日に発生した熱海市土砂災害にも、緊急消防援助隊群馬県大隊の救助隊として出動してきました。また私は今年度から総務省消防庁が整備をする国際消防救助隊という部隊にも所属することとなりました。これは海外で大規模災害が発生して派遣要請を受けると、24 時間以内に成田空港に集結し出発、日本の代表として救助活動することとなります。現在は有事に備え、覚悟を持って業務や訓練に勤しんでいる毎日です。レスキュー隊は時に体力的、精神的にも辛く、身の危険を感じる災害現場もありますが、そこに助けを求める声がある限り、絶対に助ける。自分達が最後の砦なんだ、という責任感を持って危険と戦っています。

今では、消防という組織の一員として強い気持ちを持って働いている私ですが、消防士を目指すことになったのには、一つのきっかけがありました。それは取り返しのつかない大きな失敗。思い返す度に今でも胸が締め付けられる、そんな出来事です。

私は幼い頃から、両親が共働きだったため、祖父母によく面倒をみてもらっていました。祖父は小さな寿司屋を経営していたのですが、私が学校で嫌なことがあって落ち込んでいたり、辛いことがあって悩みうつむいていると、いつも美味しいお寿司をつくってくれました。そして満足そうに食べている私を見ながら、祖父は「亮太、よく聞きなさい。辛いことこそが、人間を大きくさせるんだぞ。辛いことから目を背けてはいけませんよ。」と言葉をかけてくれたのを鮮明に覚えています。人間味溢れる祖父は、幼い私にとっていつも成長するきっかけをくれる大切な存在でした。中学 3 年生のある日です。私が夕方学校から家に帰ると、玄関で胸を苦しんでいる祖父がいました。みるみるうちに祖父の顔色は青白くなり、バタンと大きな音を立てて倒れ込みました。慌てて 119 番通報をしたあと、たまたま居合わせた父は胸骨圧迫、私は AED を求めて家を飛び出しました。700 メートル離れ

た公民館にAEDがあったという記憶を頼りに、私は全力疾走しました。しかし汗まみれになってAEDを持ち帰った時には祖父はもう救急隊に搬送された後で、家には誰もいませんでした。急性心筋梗塞、祖父はそれから家に帰ってくることはありませんでした。後に調べたところ、私が向かった公民館より、さらに近い場所にAEDが設置されているのが分かり、胸が締め付けられました。もっと早くAEDを届けられたら、祖父は助かったかもしれない。あの時すぐに電気ショックがうてたら、なぜ私は助けられなかったのだろう。自分を悔やみました。しかし、しばらく悩んでいると祖父の顔が思い浮かびました。下をうつむく私に祖父は何を思うだろうかと考えた時、あの言葉が頭をよぎりました。「亮太、辛いことこそが、人間を大きくさせるんだぞ。」という言葉。祖父の命を、無駄にしてはいけません。私はこの辛い出来事を後悔でなく、反省に変えなければなりません。この出来事をきっかけに、人を助けたいと強く思うようになり、消防士を目指しはじめました。あれから16年がたった今、救助隊として人命救助の最前線で働くことは、私の生き甲斐となっています。こんなにも感謝をして頂ける仕事はなかなかありません。誇りを持てる仕事だと思っています。

皆さんは日々の生活で、忘れられない失敗や後悔、というものを経験したことがあるでしょうか？もちろん失敗するのは怖いこと、辛いこと。ですが、自分を成長させる最大の糧になります。挑戦しなければ、失敗を経験することさえもできません。果敢にチャレンジする人間だけが、成功する喜び、失敗した時の苦しみ、そしてチャンスを掴むことができます。それは全て貴重な経験だと思えます。

私のモットーは、挑戦から逃げないこと。今思い返すと、幼い頃から何事もやってみようという性格だったと思います。それは失敗を嫌う前に、挑戦しない自分が嫌いだったからです。故に失敗も沢山しましたが、挑戦することに後悔はありません。失敗を繰り返しながらも、いつもいい方向に向いていると確信しています。そんな自分を習慣づけることで、必ず結果がついてくると信じています。

これから成長する中で、お父さんやお母さん、これから出会う大切な人に、大切な言葉をもらうことがあると思います。私の場合、人生を左右したと言える言葉をくれたのは祖父でしたが、大切な言葉というのは、様々なことを経験して考え、やっとその言葉を体の一部にできた時に、本当の宝物になります。今はまだ、さりげない言葉だったとしても、後に大切な言葉だったのだなと気づくことがあります。皆さんもそんな素敵な言葉に出会えるといいですね。

皆さんはこれから大学や専門学校、そして就職活動を控え、目の前に沢山の壁が立ち上がるかもしれません。しかし、それらの壁に全く怯む必要はありません。真正面に向き合い勇気を出して、一歩を踏み出して、乗り越えようとしてください。もし乗り越えられなかったとしても、皆さんはその失敗を経験して成長し、また少し大きくなっていると思います。同じ壁がきたら次こそは乗り越える。それを繰り返しているうちに皆さんは、いつの間にか個人の能力を高め、強い人間になっているでしょう。

このコロナ禍で世の中の情勢は大きく変わりました。特に皆さんがこれから数年後に迎える壁、就職活動は人生を左右する大きな分岐点となります。そんな就職活動も変化しつつあります、例えば面接はオンライン面接を取り入れはじめる企業も多くなっています。コロナの感染拡大を防ぐために、苦渋の策として始まったオンライン面接ですが、実現してみると実用性が注目されはじめて、アフターコロナはこの試験形式を採用する企業は増えていくだろうと言われています。面接を開く側のメリットとしては間口を広げることで、より優秀な人材を引き抜くことができ、面接を受ける側のメリットとしては地域を問わずどんな場所からでも、気軽に面接ができる。つまりこれは、企業が求める能力が高くなり、採用試験の応募者、ライバルが増えるということです。時代の変化とともに、私達も変化に対応していかなければならない。個人の能力の重要さがわかりますよね。

最後になりますが、つまり私の伝えたいこと、要点はこれです。就職活動に限ったことではなく、日常生活のなかでも行動力がある人間は、まわりと差をつけることができます。失敗を恐れず何事にも果敢にチャレンジしてください。誰だって失敗はあります。ただ気をつけることは、同じ失敗を繰り返さないこと。今からでも全く遅くありません。自分の強みをつくる、人格や可能性を高めるためにも、挑戦しましょう、自分の未来のために。

これで講話を終わります。今後の皆さんのますますのご活躍を心よりお祈りしております。本日は貴重なお時間を頂きありがとうございます。

【例会予告】

12月6日(月) 年次総会
食事:ラメール

13日(月) ガバナー公式訪問
食事:吉野家

20日(月) 家族合同忘年クリスマス会
点鐘:午後6時30分
場所:美喜仁桐生文化会館
スカイホール

27日(月) 休 会